

不平等条約改正！（陸奥→領事裁判権、小村→關稅自主權）
②日清、日露戦争のきっかけと結果を覚えよ！

歴史要点プリント④

第5部 第5章 帝国主義と日本 教科書 p176~183

★ (1) 帝国主義

…市場や原料を確保するために海外へ進出し、その地での利益を守るために軍事力を強めて植民地支配を行うこと

<条約改正への努力>

不平等条約を改正するために… 〔=國が植民地支配を広げていってはいかないか？〕

・井上馨の (3) 欧化政策 …鹿鳴館での舞踏会外交←国民の反発

・1866年 (4) ハーマン号事件 ←国民は領事裁判権の廃止を求める

・1894年 (5) 陸奥宗光 によるイギリスとの交渉 → 領事裁判権の廃止

[A] 日清戦争 1894年

きっかけ

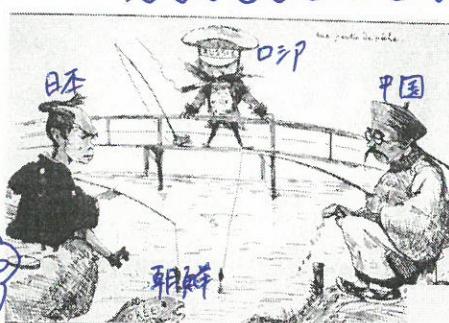
1894年 (6) 甲午農民戦争

…日本と欧米諸国を追いかけて、朝鮮の政治改革をめざす反乱（朝鮮南部）

→日本と清が出兵

→豊島沖で衝突

農民がおこして反乱。
→政府は清に干渉軍を求める
→日本も朝鮮海軍を送る



結果

日本勝利

内容もおさえよ！

1895年 (7) 下関条約

①清国は朝鮮の独立を認める

②遼東半島・台湾・澎湖列島を得る

③賠償金2億両（テール）を得る

★ (8) 三国干涉

ロシア、ドイツ、フランスが日本に対して、遼東半島を清に返すように勧告

→結局、日本は返さない。

[B] 日露戦争 1904~05年

きっかけ

外國を追い払おう！

結果

日本が勝利

内容もおさえよ！

外國の領土を

期限つきで

借り受け

分配する。

1905年 (11) ポーツマス条約

締結

①韓国における日本の優越権

②長春・旅順間の鉄道と関東州（旅順・台連）の租借権

③南樺太を獲得

→賠償金が得られず、(12) 日比谷焼き打ち事件

が起こる

人々不満

○日本が日露戦争に勝ったからこそ…

・1911年 (13) 小村 寿太郎 が条約改正 → 関稅自主権の回復

・日本の帝国主義の動き

★1905年 (14) 韓国 を保護国に…外交権・内政権を日本の支配下

・(15) 伊藤博文 を韓国統監として派遣

★1910年 (16) 韓国併合 …韓国を日本の植民地に

・朝鮮総督（軍人）をおいて支配 韓国→朝鮮 首都：漢城→京城

<アジア初の共和国>

★ (17) 孫文 …民族の独立、民主制の実現、国民の安定をめざす (18) 三民主義 をとねえ、清をたおす運動

・1912年 アジア初の共和国 (19) 中華民国 成立 → 清朝の滅亡 (20) 辛亥革命

清 → 中華民国になつてよ！